

自殺対策事業の取組状況と今後の事業展開について

1

自殺の実態

- ・令和4年より全国的な自殺者数は減少傾向にあるものの、自殺者数に占める20歳未満の割合が増加しており、**子ども・若者への自殺予防支援の拡充が課題**となっている。
- ・特に小・中・高生における自殺者数が増加傾向にあり、令和7年においては、過去最多の538名にも及んでいる。
- ・三田市における令和7年の自殺者数は令和6年より7名増加し、自殺率が国・県より高くなっている。また年代別では40歳代(40-49歳)が4人と最も多かった。一方で、60歳以上は合計8人と全体の約半数(47%)を占めている。

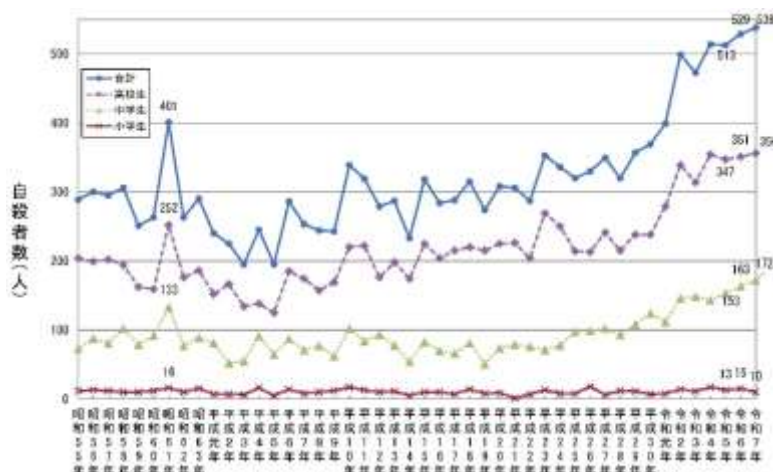
【表1】過去5年間における自殺者数の推移

※「地域における自殺の基礎資料」より

		R3	R4	R5	R6	R7
三 田 市	自殺者数	15	14	15	10	17
	自殺死亡率※ ¹	13.5	12.8	13.84	9.33	15.97
	自殺者の特徴 (性別 年齢層 原因・動機)	男女(11:4) 20-29歳 50-69歳 健康問題	男女(7:7) 20-29歳 50-69歳 健康問題	男女(8:7) 50-79歳 健康問題	男女(9:1) 40-49歳 20-29歳 健康問題	男女(11:6) 40-49歳 健康問題
全 国	自殺者数 ()内は20歳未満の 自殺者数の割合	20,820 (3.59%)	21,723 (3.66%)	21,657 (3.74%)	20,061 (3.96%)	19,024 (4.35%)
	自殺死亡率※ ¹	16.4	17.3	17.3	16.1	15.3
兵 庫 県	自殺者数 ()内は20歳未満の 自殺者数の割合	891 (2.81%)	945 (3.49%)	972 (3.09%)	835 (3.95%)	807 (4.70%)
	自殺死亡率※ ¹	16.1	17.2	17.8	15.4	15.0

自殺死亡率※¹=10万人あたりの数値

【表2】小・中・高生の自殺者数年次推移(全国)



	R4	R5	R6	R7
小学生	17	13	15	10
中学生	143	153	163	172
高校生	354	347	351	356
合計	514	513	529	538

※資料:警察庁自殺統計原票データより厚生労働省自殺対策推進室作成

2

三田市における自殺対策の取り組み

いのち支える人材の育成

- 地域住民向けゲートキーパー講座の開催
- 市内中学生向けゲートキーパー講座の開催
- 市内教職員向けゲートキーパー講座の開催
- 市職員及び支援者向けゲートキーパー講座の開催

いのちつなげる支援体制の整備

- 自殺対策に関連する庁内及び関係機関のネットワーク強化
- 各種施策との連携

相談窓口の普及・啓発

- 「三田市悩み相談窓ロ一覧」の作成
- 夏季休暇前に高校生向け悩み相談一覧ちらしを市内高校に配布
- 18歳のお誕生月に相談窓口の案内を送付
- 三田市健康だよりに相談窓口掲載(全戸配布)
- 市 HP や広報誌における相談窓口の掲載
- 自殺予防週間及び自殺対策強化月間における啓発ポスターの掲示
- 自殺対策啓発グッズの作成・配布
- 「メンタルヘルスケアシステム KOKOROBO」の活用
- こころの健康づくり講演会の開催
- 市政出前講座における健康講座の実施
- 働き盛り世代向け健康応援セミナーの実施

1.ゲートキーパー講座の開催

□実施目的

ゲートキーパー講座の受講を通して、自分自身を大切にする考え方(セルフケア)や悩みを抱えた人への寄り添い方を身に着けることで、こころの SOS のサインを受け止め支えられる人材の拡充を図る

□令和7年度の実施状況

	中学生 (ゆりのき台)	中学生 (八景)	中学生 (狭間)	中学生 (藍)	教職員	市職員及び福祉 関係者	地域住民
開催 日時	6月24日	6月26日	7月16日	9月18日	7月24日	① 2月2日 ② 2月10日	3月1日
参加 対象	3年生	1年生	3年生	全校生徒	市内小中学校及 び特別支援学校 教職員	① 子ども向け ② 高齢者向け	保護者・ 地域住民 等
受講 者数	281名 (教職員含)	160名 (教職員含)	127名 (教職員含)	142名 (教職員含)	29名	① 22名 ② 38名	86名

□令和8年度の実施予定

	中学生	教職員	市職員 支援者等	地域住民	専門職
対象	市内全中学校(9校) ※各中学校の実施 希望に基づき講座 を開催	市内小・中学校 及び特別支援学 校の教職員	市職員及び福祉 関係職員	児童・生徒の保 護者や地域活動 者等	保健師・相談 支援者等
予定 (実績)	市内6校で実施済み (長坂中・狭間中・藍 中・八景中・ゆりのき 台中・上野台中)	8月18日(火) 10:00~12:00 予定	9月29日(火) 14:00~15:45 予定	12月上旬 (自殺対策強化月間) 予定	8月17日(月) 9:30~11:45 予定

□今後の課題

- ・自殺の実態に即した講座対象の設定(年齢層や属性など)
- ・「ゲートキーパー」を知らない人や関心がない人に参加してもらうためのきっかけづくり
- ・講座内容の充実・強化(受講者の意見を取り入れた講座形態を検討)

2.相談窓口の普及・啓発

□実施目的

電話やチャット、LINE など自分に合った方法で相談できる窓口があることを広く周知すること、悩みを抱えた際に一人で抱え込まず誰かに相談できる環境づくりにつなげる

□令和7年度の実施状況と令和8年度の取組予定

実施事業	R7年度の実施状況	R8年度の取組予定
【自殺対策啓発グッズ】 自殺が多い年齢に向けた自殺予防のためのメッセージや利用しやすい相談窓口を掲載した自殺啓発グッズを配布	R6年度に作成した自殺対策動画につながる二次元コードや様々な方法で相談できる窓口を掲載した クリアファイル を 市内中学生に配布	中・高年齢層へ向けた利用しやすい相談窓口を掲載し自殺対策啓発グッズを配布
【悩み相談窓口一覧】 様々な分野に対する相談窓口をまとめた一覧を作成し市内公共施設や関係機関、地域活動者等に配布	・一般向け悩みちらし ・中学生向け GK 講座で中学生向け一覧を配布 ・市内高校へ相談窓口ちらしを夏季休暇前に配布	・一般向け悩みちらし ・中学生向け GK 講座で中学生向け一覧を配布 ・市内高校へ相談窓口ちらしを夏季休暇前に配布

令和8年度新規事業「こころのケア相談」実施

【事業概要】

自殺のリスクを抱える人等に対して公認心理士または臨床心理士によるカウンセリングを行うことで、医療機関や相談機関等必要な支援につなぐまでの一時的なこころのケア及び再度の自殺企図の防止を図る。

□今後の課題

- ・対象となる年齢層や属性に応じた相談窓口の周知方法を検討
- ・関係機関や地域活動団体などの協力を得ながらポスターの掲示や相談窓口一覧の配布などを行い、日常生活の中で相談窓口の情報を取得できる機会を増やす

3.いのち支える支援体制の整備

□実施目的

自殺対策に関連のある庁内各課や関係機関等と自殺対策事業に係る意見交換や課題の解決に向けた協議の場を設けることで、誰もが困りごとを抱えたときに相談できる包括的な支援体制の構築を目指す

□令和7年度の実施状況と令和8年度の取組予定

①自殺対策庁内連絡会議

【開催目的】

自殺対策と関連性のある庁内部署を対象として、自殺の実態や現状における課題を共有し、自殺対策に係る取組状況の報告や今後の事業展開に関する協議を行うことで連携強化を図る

【開催状況】

令和7年度：年2回開催（第1回：令和7年11月21日 第2回：令和8年3月18日）

令和8年度：年度内の開催を予定

②健康審議会

【開催目的】

第3次健康さんだ21計画(第2次三田市自殺対策計画)の取組評価について健康づくりや自殺対策に関する現状・課題を整理し、課題解決に向けた協議を行う

【開催状況】

令和7年度：令和7年10月1日開催

令和8年度：令和8年8月6日開催

③管内自殺予防推進会議

【開催目的】

管内（宝塚市・三田市）の自殺対策を推進するため、管内の自殺者の動向についてや行政関係者が現状の工夫や課題等を共有し、連携強化を図ることを目的として開催

【開催状況】

令和7年度：令和8年3月3日開催

令和8年度：昨年度と同様に開催予定

□今後の課題

- ・自殺対策に関する庁内横断的な支援体制の構築
- ・SOSのサインを受け止め支えられる地域づくりに向けた関係機関や民間企業、地域活動団体等との連携強化